

京都大学若手人材海外派遣事業 ジョン万プログラム
研究者派遣プログラム

成果報告書

提出日：平成26年1月8日

1. 渡航者			
氏名	柳川 綾	採択年度	平成 24 年度
部局	生存圏研究所	電話	
職名	助教	メール	
研究課題名	Disease resistant behavior in insect:昆虫の病気感染抵抗行動		
海外渡航期間	平成 25 年 3 月 31 日～ 平成 25 年 12 月 28 日		
2. 渡航に関する情報			
渡航先	国名：フランス 大学等研究機関名：フランス国立科学研究所 研究室名等：Laboratoire Evolution Genomes et Speciation 受入研究者名：Frederic Marion-Poll		
渡航期間中の出張 (渡航期間中に一時帰国や学会参加等の目的で短期の出張があった場合、その目的、行き先、期間を報告して下さい。) ※複数回に渡る場合、適宜行を追加して下さい。	出張先：イタリア 目的：ESIT02013 学会に参加し、研究成果を発表するとともに情報を収集した。 期間：平成 25 年 9 月 22 日～平成 25 年 9 月 29 日		
3. ジョン万プログラムによる成果			
以下の項目について、渡航期間中の成果、または今後見込まれる成果を具体的にお書き下さい。 ページ数については増加してもかまいません。			
国際共著論文の執筆 (論文の題名、雑誌名、共著者名、刊行予定等)	Bacterial compounds induce grooming and stimulate taste sensilla on the wings of Drosophila (投稿中)		

<p>更なる外部資金獲得に繋がる国際共同研究の立上げ／実施</p> <p>(国際共同研究の内容、実施計画、応募予定の外部研究資金等)</p>	<p>住友基礎科学研究助成 平成 25 年 11 月～平成 27 年 5 月まで</p>
<p>国際研究ネットワークの新規構築／深化</p> <p>(参加した学会やその他の学術・交流組織、そこから構築／深化した研究ネットワークの内容等)</p>	<p>住友基礎科学研究において、昆虫病理学の権威であるスイス工科大学ロザンヌ校の Lemaitre 教授の協力をいただくこととなり、知覚から免疫へと研究の幅を広げる予定。</p>
<p>在外研究経験による研鑽</p> <p>(渡航先機関で得た研究の展開方法、研究室の運営方法、教育方針・人材育成方法等)</p>	<p>これまでの研究で用いている社会性昆虫では遺伝的アプローチを行うことが難しかったが、今回ショウジョウバエという強力な遺伝子ツールを用いることで、突然変異個体を利用するだけでなく、ショウジョウバエの遺伝子交配を用いて目的の機能を発現する個体を作成する実験系の構築について学んだ。自学の形だけでなく、日常的にポストクや学生間で交換される研究の進展状況などの情報・ディスカス、あるいは週一回のコンパートメント全体の交流を図った勉強会など、議論を進める視点や、ほかの意見を考慮する姿勢など興味深いものがあった。</p>
<p>フィールド研究の進展</p> <p>(渡航先国で実施した実地調査や文献調査等の内容)</p>	<p>研究室における基礎研究を行ったので、フィールド研究は行っていないが、文献については著者と直接討論する機会があるなど、貴重な経験を得られた。また、パリ 13 大学や IRD といった、他研究機関で活躍するシロアリ (嗅覚におけるモデル昆虫) の研究者を訪問し、様々な種の維持法を学んだり、実験系に関する国際的に通用するモデルについてご相談に乗っていただいたりした。また、学生交流やイルドフランス・ショウジョウバエ研究会 (DIF) やパリ日本人研究者会などのセミナーに参加し成果発表の機会をいただくなど、フランスの研究および教育の在り方に触れる機会を得た。</p>